

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年12月23日(月)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と色の変化②

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・窓から差し込む光が何かに反射して虹色になっている様子をじっくり観察している姿がありテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

- ・暗い部屋の中でライトテーブルやライトを使い、アクリルブロックやピタゴラを組み合わせて、カラフルな色や影などを観察する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・ライト
- ・ライトテーブル
- ・アクリルキューブ積み木
- ・マグビルド マグネットブロック
- ・クリスタル積み木

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・保育室で部屋を暗くして行う。
- ・ライトテーブルの上でアクリルキューブやマグネットブロックなどを組み合わせて、色や影を観察する。
- ・アクリルキューブやマグネットブロックをカーテンの隙間からこぼれる光やライトにかざし、色や影の出方を観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 緑の亚克力キューブを沢山並べて「草の中にいるみたい」と表現している子や亚克力キューブやクリスタル積み木などを使い「笑ってる顔ができた」と顔を作っている子もいた。 • クリスタル積み木を覗き込み、キラキラ光る景色を「町みたいに見えるよ」と表現している姿も見られた。 • ライトの上にマグネットブロックを乗せて、「赤いライトになったよ」とカラーライトを作っている子もいた。 	  

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

前回公園に万華鏡を観察したときとはまた違った形で光と色についての活動を行った。普段日中の活動の時間に保育室を暗くすることがないので、暗い部屋にライトの明かりが灯されるだけでも子ども達は興奮気味だったが、遊び始めると前回発見した色の重なりによる色の変化などを覚えていたようで、亚克力キューブを重ねて新しい色を作りだしたり、亚克力キューブやマグネットブロックで形を作って生き物を作りだしたりする姿も見られた。

今後はクリスタル積み木を自分自身で作って、光と色の変化を自分で作り出すという経験もできたらと思う。